

4. 算定結果のまとめ

算定結果

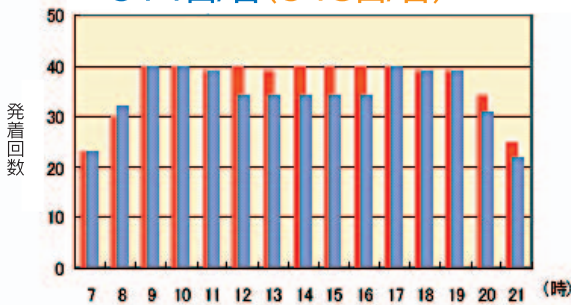
区 分		1時間あたりの最大値 (回/時間)	年間処理容量 (万回/年)
滑走路増設案	東側配置(滑走路間隔300m)	40	18.8(20.0)
	西側配置(滑走路間隔300m)	39	18.3(19.6)
	西側配置(滑走路間隔210m)	38	17.7(18.9)
	西側配置(滑走路間隔210m)改良案	40	18.3(19.7)
新空港案(滑走路間隔300m)		43	21.3(22.6)

※年間処理容量の()内数字は、昼間の時間帯の有効活用が行われた場合を示します。
 ※年間処理容量は日便数の365倍ですが、日便数を算出する際、ピーク時間帯の各時間あたりの処理機数は、各時間の発着比率により若干変化するため、表中の1時間あたりの最大値と年間処理容量は比例するものではありません。
 ※算出した滑走路処理容量は、空域上の制約がないなど、多くの仮定に基づき算定した試算値であり、実際の発着回数はこの試算値と変わる可能性があります。
 ※実際の運用にあたっては、安全性や効率性等を考慮し、今回の前提とは異なった滑走路運用を行うこともあります。

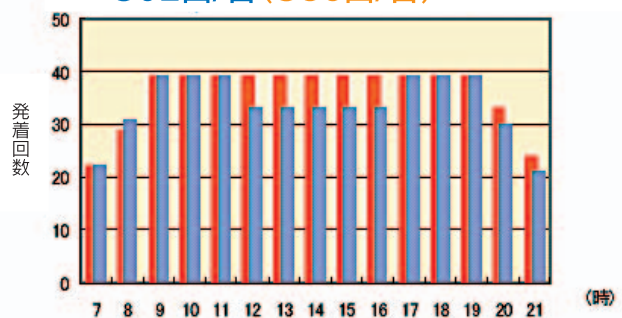
滑走路処理容量

各案の日あたり発着回数の分布

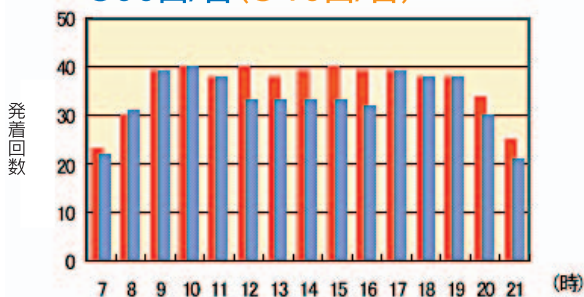
①東側配置(滑走路間隔300m)
514回/日(548回/日)



②西側配置(滑走路間隔300m)
502回/日(536回/日)



③西側配置(滑走路間隔210m)改良案
500回/日(540回/日)



④新空港案(深夜早朝分を別途加算済み)
584回/日(620回/日)

